**高屋神社（たかやじんじゃ）**

高屋神社は海を臨む観音寺市を見下ろす標高404メートルの稲積山の山頂に建てられています。神道の神社である高屋神社には1000年以上の歴史があり、西暦927年に完成した法律と習わしを集めた書である延喜式にその名が記されています。しかし、現在ある神社の建築よりも興味深いのが、その大きな石の鳥居です。この石の鳥居は山頂までの道のりをほとんど車で上がれるように作られた舗装路の完成を祝って2009年に作られたものです。 この鳥居は山でも最も景色の良い場所に建てられているので、観音寺市と遠方に見える瀬戸内海の島々の美しい眺めを縁取る額縁のような役割を果たしているのです。新しい道によって高屋神社への車でのアクセスは容易になりましたが、元気のいい参拝者なら神社まで歩いていくこともできます。山の麓にある神社の下宮から山頂から歩いて登っていくとおよそ1時間かかり、山頂に近づくと鳥居へと続く270段の急な石段があります。